

金も、フラクナも、原油も、ガソリンも、
大豆も、トウモロコシも、コメも、ゴムも、

とにかく**コモティティ**が おもしろい!

C X 市況講演会

受講料
無料

先着
100名様

お申込はコチラから!

東京
(会場: 東京商品取引所)
12月4日(水)

大阪
(会場: 大阪堂島商品取引所)
12月6日(金)

第一部
17:30
↓
18:30



△ 柴田 明夫 氏

【トウモロコシ/大豆】

『2014年穀物相場、見過ごしにできないこれだけのポイント』

講師: 柴田 明夫 (株) 資源・食糧問題研究所 代表

世界の食糧市場ではここ数年続いた穀物の超強気相場は終焉し『価格上昇』から『数量拡大』へと移った。しかし今世紀に入って世界の食糧市場のステージは変わっている。穀物の生産・消費規模は飛躍的に拡大。市場に参加するプレーヤーも中国や南米が加わった。価格水準が切り上がったことで世界的な農業開発ブームが起こっている。その特徴は農業の工業化・脱自然化・普遍化だが、一方で異常気象の頻発、水不足など自然の反発も深刻化するなど、2014年の穀物市場はますます不安定化しつつある。さらに、中国、TPP、アベノミクス、米国のエタノール、GMO (遺伝子組み換え) 動向などが不安定化を増幅する。

第二部
18:35
↓
18:50

【コメ】

『農水省月間レポートと2014年の市況』

講師: 小針 秀夫

(トーキョートレーダーズタイムズ 代表取締役)

前回の「コメに関する情報のとり方」に続き、今月は「日本のコメ需給の判断の仕方」を説明する。農水省が発表する「コメ・マンスリー・レポート」最新号の内容を紹介しながら、足元のコメ販売状況、需給状況、在庫状況を解説。加えて平成25年度産の作付面積と収穫量にも触れ、さらに日本のコメの総合的な需給推移について説明する。

【コメ】

『最新市況報告』

講師: 柴田明夫 (株) 資源・食糧問題研究所 代表

足もとのコメ価格は、緩やかな下落傾向。2013年の作況指数(102)は「やや良」で3年連続で100超となり生産が必要見通しを上回り、12年産米の民間在庫が大量に残っている。ただ2014年はTPP交渉でのコメ関税撤廃検討や減反政策打ち切りの動きを映し、生産者のコメ生産離れが起きる公算大。需給は久しぶりに引き締まる方向へ。

(第一部と第二部の間に休憩はございません)

第三部
19:00
↓
20:00

【ゴム】

『ゴム相場の季節周性から見た

天底のポイント』

講師: 古川 昭治 (株) 商品データ 代表取締役

天然ゴム産地は2月から5月に向けて季節的な減産期を迎える一方で、秋から翌年1月は増産期になる。このため東京市場では、ゴム価格は春に高値を付け、秋に安値を付けるケースが多い。ゴムの季節習性を知ることが極めて大切だ。

【貴金属】

『国際金融情勢と貴金属市況』

講師: 中山 修二 (株) 商品データ 編集長

国際情勢はいま、中東だけでなく広域で緊迫化している。加えてリーマン・ショックに端を発する世界金融不安も解消が難しく、長期に世界経済を圧迫する。『資源戦争・金融不安・地政学的リスク』という“世界不安係数”上昇で注目されるのが商品市場である。